

委員長まとめ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、ここ2年各地区に出向いての開催を自粛していた議会報告会ですが、今年度はこの間お伺いできなかったご意見を広くお伺いしたいとの思いのもと、市内全地区 8 会場で開催いたしました。今年度もコロナ禍のなかでの開催となり、広報広聴委員会内でも開催可否や方法について意見が分かれるところがありましたが、「公平性及び透明性を確保するため、積極的な情報公開を行い、市民に分かりやすく開かれた議会運営に努める」とする議会の活動原則に則り、感染対策にも適う小規模分散型での開催といたしました。

令和 4 年度は、市政運営の指針である第 6 次総合計画の検証の年であり、平成 26 年度から 10 年間この計画に基づいて様々な施策に取り組んできた市の歩みを、今年度市議会として新たに設置した総合計画特別委員会で検証をおこないました。この流れを受け、今年度の議会報告会の構成は、第 1 部で総合計画特別委員会がおこなった検証結果の報告を、第 2 部で総合計画の重点方針である協働を取り上げ、「協働のまちづくりの課題と今後の展望」について参加者との意見交換テーマとすることといたしました。なお、意見交換では過去の議会報告会で反省事項として挙げられていた「大勢の前では意見を述べにくい」「同じ人ばかりの発言」に対応するため、6 人～10 人の少人数のワークショップ形式でおこないました。

参加者からのアンケートでは、今回のテーマである「協働」が分かりにくかったというご意見を多くいただきました。これは企画当初から委員会内や事務局内でも議論となっており、私自身、人によって幾通りにも捉えることができってしまう協働というテーマに対して、参加者の視点を揃えて意見交換を進め収束させる、という行程を当日、即席の進行役がクリアできるのか不安を感じていました。対応策として、第1部において、総合計画で掲げられている「協働のまちづくり」に対する理解が深まるよう、意見交換の導入部を兼ねたパートを追加する策を講じましたが、結果として分かりにくかったとの意見をいただけてしまいました。理解しやすい報告内容及び意見交換の流れを用意できなかったことについて、大いに反省すべき点があったと感じております。報告内容及び意見交換の流れは、全議員がこれで良かろうと認めたものではありませんが、より参加者の理解が深まるものになるよう、最後の最後まで妥協することなく内容を詰めていくことを今後の議会報告会ではおこなってほしいと思います。

開催に向けて最も懸念していた参加者の確保については、本年度はテーマに関わる方へ広く参加を呼びかけることで 8 会場計 181 名の方にご参加いただくことができました。具体的には連合自治会、まちづくり推進組織、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、交通安全協会、PTA 連合会、体育協会、ボランティア連絡協議会等の役員さんに連絡を取り参加要請をおこなうことで、各会場においてワークショップ形式での意見交換が成立する規模での開催を果たすことができました。

一方で、参加者アンケートによると、議会や関係団体からの参加要請以外で開催情報を知り参加された方は少なく、特に議会の主要情報発信ツールである議会広報紙と市議会ホームページにより報告会の開催を知ったとする方は174名の回答者中それぞれ19名(10.9%)と1名(0.6%)しかおらず、議会が持つ情報発信媒体の発信力の弱さが露呈する結果となりました。願いをして議会報告会に来てもらうことは、短期間での参加者集めの有効な手段ではありますが、日頃から市民に関心を持ってもらえる情報発信を議会全体で取り組み、議会が自前の媒体を通じて投げかけた情報に対して、市民が応じてくれる関係を構築していくことが、長期的に有効な議会報告会の参加者確保策となるように思います。

各会場において参加者から聴取した協働のまちづくりの課題は、総合計画特別委員会が作成し市長へ提出した「第6次瑞浪市総合計画基本構想に関する附帯決議進捗状況評価報告書」の中に集約した内容を掲載し、市の進める協働のまちづくりに対する市民からの意見という形で現在策定が進められている第7次総合計画基本構想への反映につなげる流れといたしました。報告会にて伺った意見がどのように市政に反映されるかを可視化することは、議会に対する市民の参画意欲を高めることにつながるものだと考えられます。今後の議会報告会においても、伺った意見をどのように扱うかについて入念な設計が行われることを期待します。

最後に、今年度の議会報告会では上記の各取組に付随し、4日間連続開催や議員2人ペアでのグループワークの進行、不文律として存在していた地区選出議員の当該地区での報告会配置自粛ルールの撤廃など、これまでの報告会とは異なる進め方での運営となり、参加された市民の皆様には慣れない進行にお付き合いいただく形となりました。誠にありがとうございました。アンケートでは「大いに満足できる内容だった」「満足できる内容だった」と回答いただいた方が合わせて80%を超え、「満足できない内容だった」「全く満足できない内容だった」を大きく上回る結果となりましたが、反省すべき点は反省し、より良い議会報告会を企画していくことでお礼を重ねていきたいと思えます。

加えて、これまでとは異なる開催方法を認めて協力いただきました全議員と、今回の企画と運営を支えてくれた事務局に深く感謝を申し上げまして、委員長まとめといたします。

議会広報広聴委員長 山下千尋